

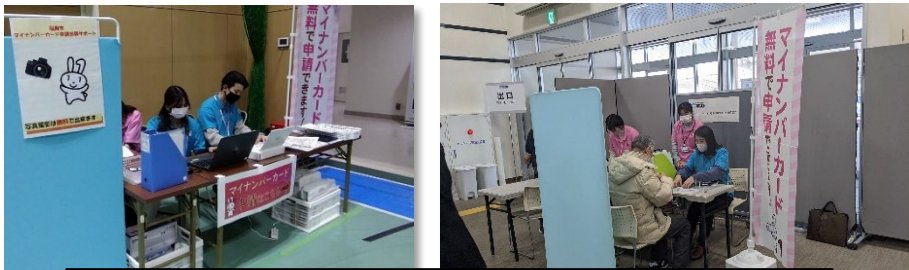
令和4年2月分フォローアップにおける先進事例

自治体において、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で、人が集まりやすい以下のような場所での申請促進活動を実施。

○ワクチン接種会場（福岡県福岡市）

概要

- ▶ 8カ所の新型コロナウイルスワクチンの3回目接種会場で、出張申請受付および出張申請サポートを実施。
- ▶ 実施については、市HPやワクチン接種サイトで周知。



ワクチン接種会場での受付の様子

ポイント

- ▶ 接種対象者が持参するワクチン接種券を本人確認書類の1つとして使用することで、その場で本人確認を行い、カードを後日郵送。

本人確認書類の例：運転免許証 + ワクチン接種券

- ▶ 接種後の待機者に、チラシを配布。

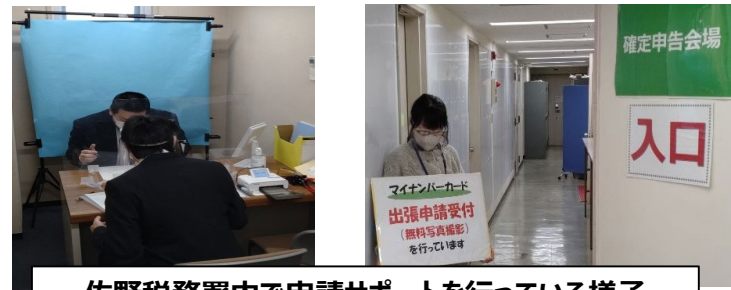
開始時期

- ▶ 令和4年1月20日（当初4カ所、2/10以降は8カ所で実施）

○確定申告会場（栃木県）

概要

- ▶ 栃木県知事と県内8カ所の税務署長が「マイナンバーカード取得及びスマホ申告推進宣言」の協定を締結。
- ▶ 税務署において市職員が申請サポートを実施。



佐野税務署内で申請サポートを行っている様子

ポイント

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえる必要があるが、確定申告の本格化に伴い、実施場所を拡大予定で、受付数の増加が見込まれる。
- ▶ 県庁及び税務署間で連携し、動画等によるカード取得及びカード利用によるスマホ申告促進の広報事業を展開。

開始時期

- ▶ 令和4年1月21日